

2013年 水資源管理に係るワークショップにおける共同決議（仮訳）

2013年9月

南アフリカ共和国水・環境省 Ms Rejoice Mabudafhasi 副大臣の招待の下に、日本国松下新平国土交通大臣政務官は、2013年9月18日に南アフリカ共和国を公式訪問し、第3回日・南アフリカ水資源管理ワークショップに参加した。

日本国国土交通省及び南アフリカ共和国水・環境省との間では、2011年の第1回日・南アフリカ水資源管理ワークショップ開催時に共同決議を行っており、2011年から2013年までの間、これに基づく多くの有益な成果が得られており、まとめると次の通り。

- a) 水防災分野、汚水処理分野及び水資源管理分野に関し、多くの技術情報の交換が行われ、
- b) 上下水道分野の能力強化・研修が行われ、また、
- c) 閣僚級による協力関係の評価が行われた。

一方で、両者は、水分野に関係する社会基盤の運用、保守、管理については、協力を深化させる必要があるとの認識で一致した。

両者は、水分野における相互協力の継続及び強化に関する認識を共有した。また、効果的に、公平かつ相互利益の精神の下に協力することの必要性を強調した。

更に、以下に示す項目について同意を得た。

- (1) 情報の共有と交換は電子通信、ワークショップ、個別会談及び現地訪問を通じて行うことを奨励する。この取組は、南ア水・環境省及び国土交通省の間で調整を行うこととするも、地方政府、専門家、学識経験者及び民間といった水分野における幅広い分野からの参加を含めるものとする。
- (2) 特に災害管理、汚水処理、水資源管理においては、計画、手法（PPPを含む）、組織体制及び能力強化に関心が示された。相互の関心事項は関連分野の技術指針や新技術にも示された。
- (3) 両者のいずれかが、これらの分野のニーズ／課題又はシーズ／ソリューションを確認したときに、他方に通知し、適合するシーズ／ソリューション又はニーズ／課題を照会することができるものとする。
- (4) 技術移転、能力開発に関しては、両者間で訪問使節、専門家及び技術者を継続的に相互交流させることで一致した。
- (5) 両者は水分野に関係する社会基盤の運用、保守、管理の分野で技術情報の交換や能力強化の形で相互協力を図っていくことで一致した。

これらの点の進捗については定期的に相互に報告し、2015年9月時点で評価を行う。

2013年9月18日に南アフリカ共和国プレトリアにて署名を行った。

松下 新平
国土交通大臣政務官
日本国 国土交通省

MS R T MABUDAFHASI
副大臣
南アフリカ共和国 水・環境省